

## 統 計

# JA 新潟県厚生連剖検輯報(長岡中央総合病院病理部 第10報) —2014年度(平成26年度)、日本病理学会第57輯掲載予定分—

長岡中央総合病院、病理部；病理医

い か ら し と し ひ こ  
五十嵐俊彦

キーワード：JA 新潟県厚生連、長岡中央総合病院病理部、剖検輯報、2014年度(平成26年度)

県内および全国の主要施設における年間解剖件数の推移を掲載しました(表1、図1、図2)。日本病理学会剖検輯報において、80年台までは登録施設の自然増により剖検数は増加してきました(年間4万例)が、以降は減少傾向です(年間2万例)。剖検率は60年台の50%から、漸減し、現在5%となりました。剖検率の低下を後追いするように、内科学会教育研修指定病院基準の病理解剖に関する部分は緩くならざるをえない状況となりました(表3)。剖検率低下の原因は、コミュニケーション不足、対費用効果の重視、検査技術の進歩(80年代のコンピューター断層撮影(CT)、90年台の磁気共鳴映像法(MRI)の導入)、人手不足、熱意低下、啓発不足等が指摘できます。ゆえに、新潟県厚生連関連施設での剖検例を積極的に情報開示することは、医療の質を見直す意味において意義があるのではないかと考えております。病理解剖の意義の普及と今後の厚生連医療の進歩を期待します。

2014年度(平成26年度)のJA 新潟県厚生連解剖記録を掲載しました(表2)。

## 謝 辞

改めて、病理解剖に協力いただいた御遺体提供者の御冥福をお祈りするとともに、その御家族・親戚、日々の献身的治療並びに解剖承諾に努力された医療スタッフの皆様にご礼を申し上げます。

蛇足 医誌発行文書に関して、死亡診断書と死体検案書の区別と記載参考文献を掲示しました(図3)。解剖が困難で死因の特定ができない場合には、「心不全、呼吸不全」と記載せず「不詳」と記入することも重要です。

## 英 文 抄 録

Statistics.

Annual report of pathological autopsy cases in Niigata Prefectural Welfare Federation of Agricultural Cooperatives in 2014 (26th year of Heisei)

Nagaoka Central General Hospital, Department of Pathology, Pathologist  
Toshihiko Ikarashi

An annual report of pathological autopsy cases in Niigata Prefectural Welfare Federation of Agricultural Cooperatives in 2014 (26th year of Heisei) was listed in this paper.

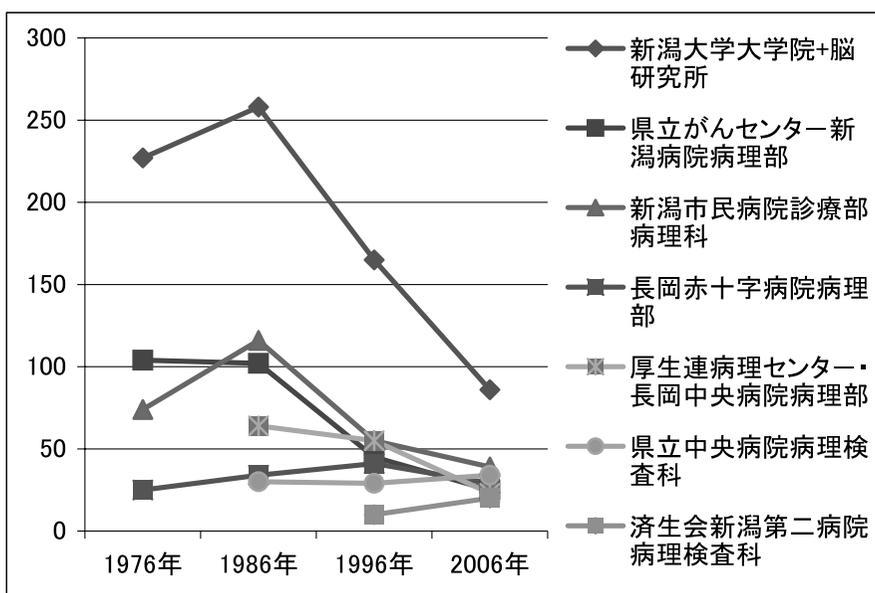
Key words: Niigata Prefectural Welfare Federation of Agricultural Cooperatives, JA Niigata, annual report of pathological autopsy cases, 2014, 26th year of Heisei

(2014/12/24受付)

表1、図1. 新潟県内施設の剖検件数の年度別推移

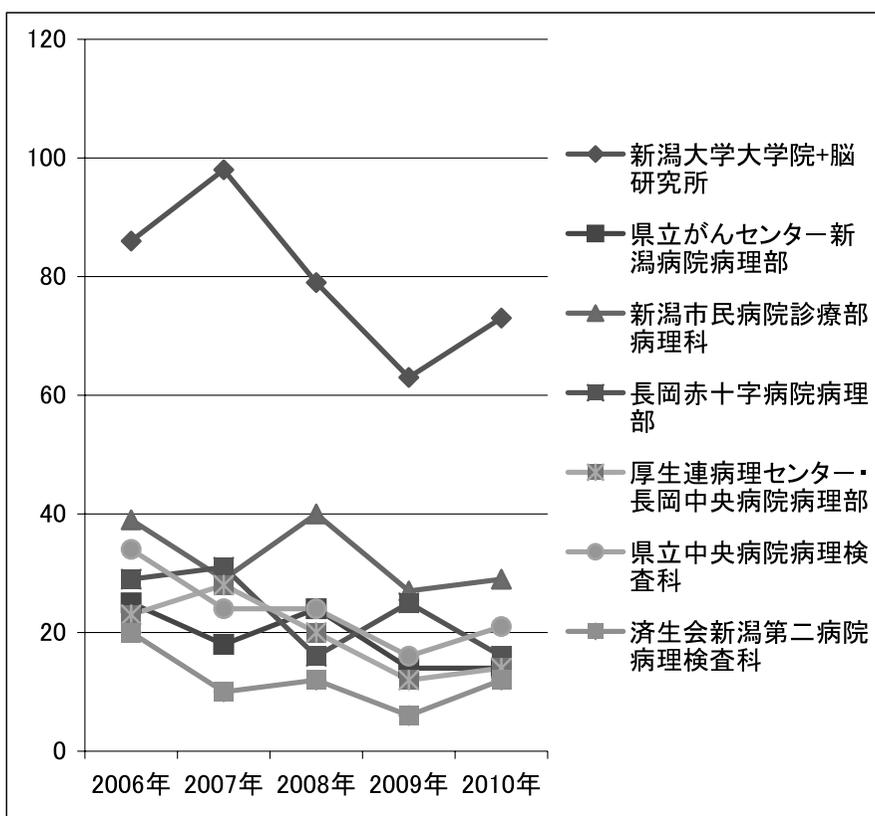
30年間の変遷

	新潟大学大学院+脳研究所	県立がんセンター新潟病院病理部	新潟市民病院診療部病理科	長岡赤十字病院病理部	厚生連病理センター・長岡中央病院病理部	県立中央病院病理検査科	済生会新潟第二病院病理検査科
1976年	227	104	74	25			
1986年	258	102	116	34	64	30	
1996年	165	45	55	41	55	29	10
2006年	86	25	39	29	23	34	20



直近5年間の変遷

西暦	新潟大学大学院+脳研究所	県立がんセンター新潟病院病理部	新潟市民病院診療部病理科	長岡赤十字病院病理部	厚生連病理センター・長岡中央病院病理部	県立中央病院病理検査科	済生会新潟第二病院病理検査科
2006年	86	25	39	29	23	34	20
2007年	98	18	29	31	28	24	10
2008年	79	24	40	16	20	24	12
2009年	63	14	27	25	12	16	6
2010年	73	14	29	16	14	21	12



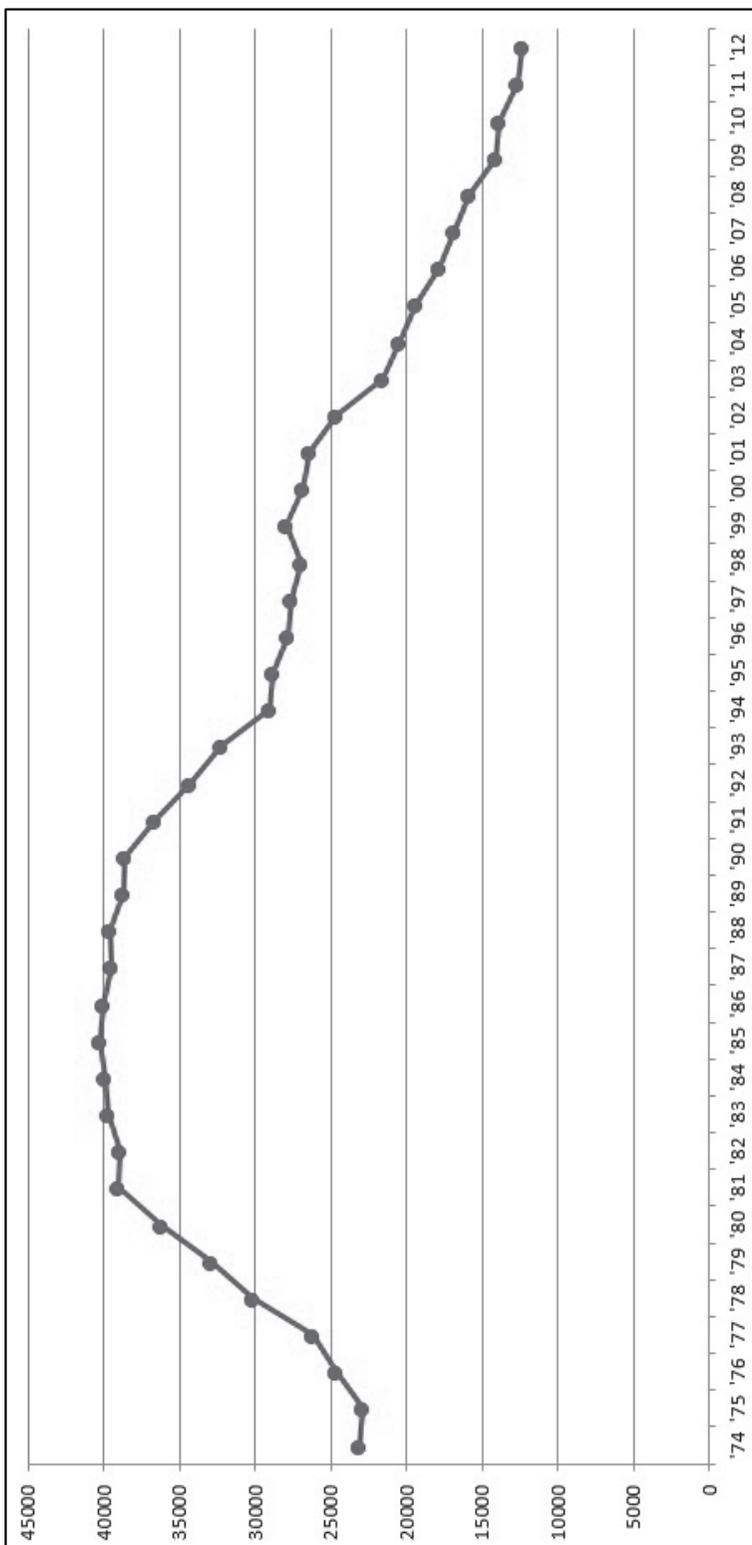


図2. 病理学会登録1032施設合計剖検数の年度別推移（日本病理学会、病理剖検輯報データベース、2014/04/01）

<http://pathology.or.jp/kankoubutur/autopsy.index.html>



西暦年度・番号 (実施月/日、時:分)	年齢 (生年月日)、性、仕事、 住所、出所担当	臨床診断 (病歴期間)	病理診断
SN14-013 (2014/03/13、14:00) 五十嵐、戸田B	80才 (1933/05/09)、 長岡市、?、長岡中央内、高田	高血圧、脳梗塞、右片麻痺 (1983、60才)、慢性腎不全 (2010、76才)、大腸ポリープ切除 (2011、77才)、心筋梗塞、胆嚢炎 (2011)、抗リン脂質抗体症候群 (2014)、左片麻痺 (2014)、消化管出血 (2014)、膵癌再発 (2014)	1. 高血圧、脳梗塞、慢性腎炎、2. 胆嚢癌、paraneoplastic (抗リン脂質抗体症候群)、主病変:胆嚢癌 (底体部、びまん性、低分化、腺癌、未治療、ラテン化) 転移: 膵臓、大腸間膜、膵、リン管、膵門、膵間膜、膵、大腸後腹膜、ウイロヒョウカ、抗リン脂質抗体症候群疑い、(慢性腎不全) 膵癌、心筋梗塞、膵臓腫瘍 (副所見: 胃びらん、胸水、腹水、子宮内膜症、子宮内膜症、肝臓癌、動脈硬化症)
SN14-014 (2014/03/18、22:00) 五十嵐、本多	在胎19週、死産、女、長岡市、長岡中央産、本多	腎形成不全	主病変: 在胎週数19週、死産、低形成 (胸腺、肺、腎、肝臓)
SN14-015	85才 (1928/05/11)、 男、?、内科入院、落合、西田	2 週前: 陳旧性心筋梗塞	心筋線維化
SN14-016	48才 (1965/09/28)、 男、柏崎内科入院、青木、林	鬱: 退社、彩葉精肉店勤務、中盛油塩漬後精肉店閉じこもり、2013/11/03: 体重減少7kg から50kgへ、摂食障害、2014/03/10: 寝たきり状態、呼吸困難、03/18: 救急車搬送入院、右主気管支閉塞、無気肺 (肺腫) + 左主気管支内腫瘍 → 気管内腫瘍閉塞 (死亡時)、右胸水、縦隔膜炎、AI: 頭蓋内病変なし	主病変: 右肺癌 (進行癌、未治療、扁平上皮癌、G2、転移: 左肺、気管)、副病変: 右肺閉塞性肺炎、器質化、(右胸水)
SN14-017 (2014/04/05、22:00) 五十嵐、富所	89才 (1924/09/05)、 女、長岡市、?、長岡中央内、富所	イレウス	主病変: 小腸穿孔 (門脈ガス血症、イレウス (小腸・大腸癒着、化膿性小腸炎、出血、化膿性腹膜炎))、副病変: 肺うっ血、左腎萎縮、血漿液性腹水、動脈硬化
SN14-018 (2014/04/04)	78才 (1935/04/30)、 男、柏崎、?、柏崎内、長谷川	肺炎、胸水、下血、上部消化管出血疑い (血性胃内容)、2 型糖尿病 (1976)、糖尿病性腎症 (1989、1998/11/11) 透析、虫垂炎 (穿孔、回盲部切除後)	肝臓: 臍状動脈死、門脈域リンパ球浸潤程度、ヘモジテリン沈着
S14-019 (2014/04/30、11:00am) 五十嵐、片桐	66才 (1947/07/09)、 男、?、柏崎市、柏崎医療センター、?、外科、多々	肺癌 (進行癌、未治療)、虫垂炎 (穿孔、回盲部切除後)	主病変: 肺癌 (右下葉、腺癌、action>BAC、G1、pT0、pN0、転移: 肺門副腎リ転、カサリヒコウ)、膵門、未治療、穿孔性虫垂炎回盲部切除吻合部離開、化膿性腹膜炎、副所見: 大腸腺腫、中状腺腫腫、前立腺肥大
SN14-020 (2014/09/24、16:30) 五十嵐、戸田、齋藤	69才 (1945/05/03)、 女、?、小千谷市、長岡中央内科、岡、中野、加藤	胆嚢癌 (4月、進行癌) 3cm 大、肝臓右葉浸潤、傍土動脈リンパ節腫大転移疑い、細胞診上未分化癌大細胞型、リンパ節転移疑い、手術痕跡なし、抗癌剤投与、PD)、(14才虫垂炎切除、25才右卵巣腫瘍切除、48才子宮筋腫子宮摘出)	主病変: 胆嚢癌 (20cm、未分化大細胞型、HCGs、肝臓十二指腸横行結腸浸潤、十二指腸穿孔、リ転、なし)、副病変: 気管支肺炎、癌瘍 (両肺)、左副腎皮質結節性過形成1.7cm、慢性中状腺炎、胸水 (左右各100ml)
SN14-021 (2014/12/19、17:00) 五十嵐、石澤、澤口	67才 (1947/03/16)、 女、長岡市、?、長岡中央、高田	糖尿病30年、DOA (血性トロポニン陽性より心筋梗塞疑い)	主病変: 急性心筋梗塞 (左心室、側、後壁、反復性、1 週間以内、房室結節周囲壊死、副所見: 肺神経内分泌腫瘍 (ラテン化、1.5mm、G1)、肺出血 (右中葉)、細気管支炎 (右上葉、器質化、器質性肺炎疑い)、膵内分泌腫瘍 (G1、1.5mm、glucagon)
SN14-022 (2014/12/25、11:30) 五十嵐、長谷川B、渡邊	84才 (1930/02/12)、 男、見附市、?、長岡中央内、高田	腎不全、透析、大動脈弁狭窄、腎癌 (両側腎摘出)	主病変: 二重痛: 腎癌 (両側性、透析、転移: 無し) + 前立腺癌 (ラテン化、右、前、3.7cm、Gleason=5+4+3=9、転移: 無し) 副所見: 動脈硬化症、大動脈弁硬化症、狭窄症、心肥大、陳旧性心筋梗塞 (散在性、左心室脚塞、右心室低下壁)、肺うっ血、急性化膿性胆嚢炎、中状腺好酸性腺腫 (右、1.5cm)、大腸腺腫 (A、Ip、D: 1p)、胸水 (右550ml、左500ml、漿液性)、腹水 (150ml、漿液性)、心臓水 (25ml、漿液性)、陳旧性肺結核 (左下葉)、ペーペースメーカー装着

(2015/01/08受付)

表 3. 内科学会教育研修指定病院基準の病理解剖に関するまとめ

年度	剖検率	年間剖検数	年間 CPC 開催
1963	50%		
1984	40%	20体	
1997			
2004	20%	16体 10体	3回
2008		10体	5回

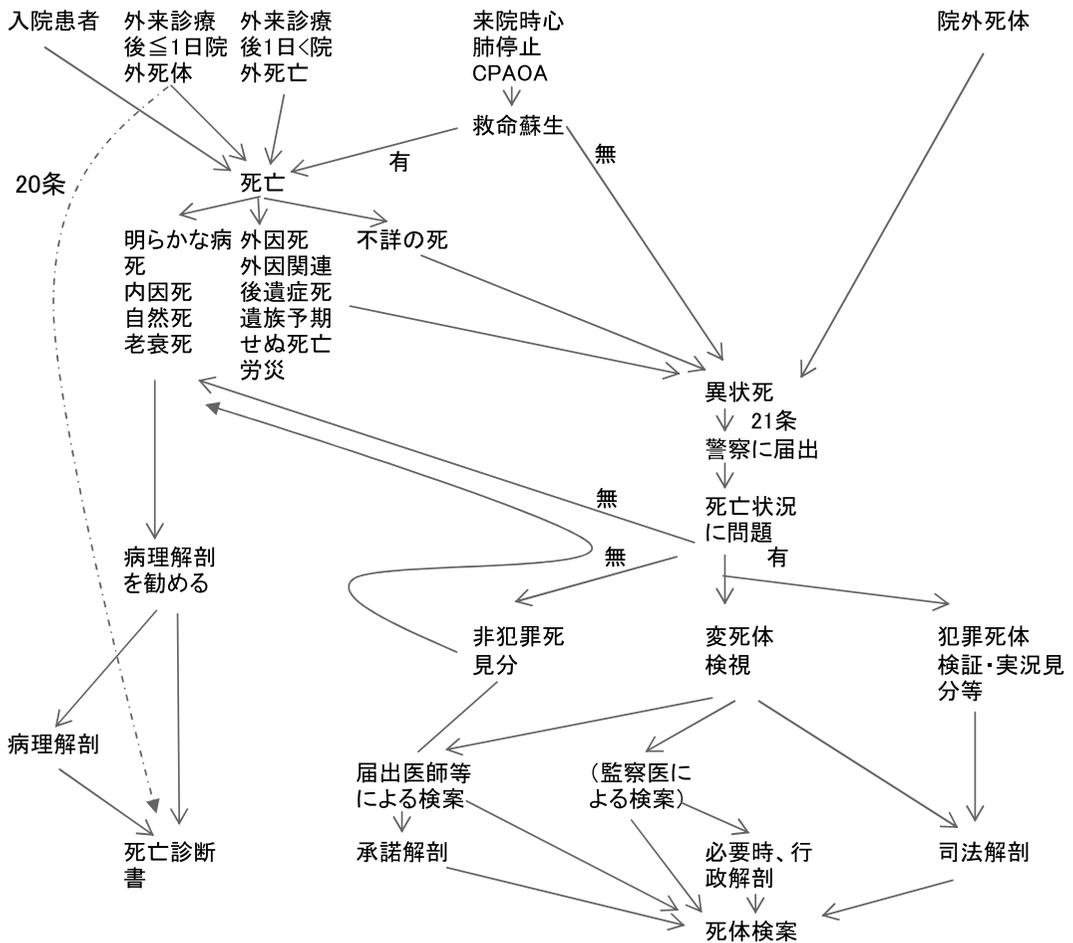


図 3. 死亡診断書と死体検案書

- 重要：
  - 生前の診療情報（既往歴、投薬状況、臨床検査成績）
- 記入のやり方に困ったら：
  - 日本法医学会編，死体検案マニュアル，第4版，東京：日本法医学会；2010。
  - 関西西大法医学教室編，法医学講座講義ノート，<http://www3.kmu.ac.jp/legalmed/lect/index.html>
  - 厚生労働省編，死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル，<http://mhlw.go.jp/toukei/manual/>
- 困った時は、頭を下げて：
  - 監察医務院（03-3944-1481）、相談電話（監察医24時間対応090-3130-3389）